

ゴ
ジ
ラ

大橋泰彦

汽笛、さざなみ、雑踏、喧騒、サイレンの音。

何やら不穏な気配。

わずかに浮かび上がる薄黄色の光も、セピアの色あせた写真を見る
ようで、なかなか実態がつかめない。

はるか遠くから、ドーンと爆発音が響き、まるで色とりどりの夏の
夜の花火に照らされるように少女が浮かび上がってくる。

大島元町港。

巡視船「かとり」は今、大島避難島民最後の人々が乗船を始め、迫
り来るそれを恐れつつ、一刻も早い出港をと、エンジンをあたため
るのに余念がない。

やよい

・・・まるで、かすかにそよぐ椿の香りに囲まれた、底知れぬ春
の日のようなやさしさで、あの人は何も言わず、ただ私をじっと
見つめていました。私が全身を写しても余りある程の大きな瞳で
あの人が何を語ろうとしているのか、それ程の時間をかける事も

なく、私は知る事ができました。付き合い始めて半年、ありきたりな恋愛を謳歌するには、私達はあまりにも不釣り合いな二人でした。私だって普通の女の子です。おしゃれなカフェテラスでコーヒーをかき混ぜながら、お互いの趣味をちよつと見栄はって語り合ったり、映画館で肩並べ、たいして恐くもない映画を、わざと驚いて手を握り合ったり、夜の砂浜に腰おろし、さざ波と潮風に、思わず唇重ね合ったり・・・。どんなに見え透いていてもいいから、そんなデートもしてみたかったのに・・・。でも、そんなあたりまえの事さえ許されないのは、やっぱりあの人
が・・・ゴジラだったから・・・。

私達のデートは、もっぱら観光客も絶えた真夜中の三原山でした。あの人が、一歩あるくたびに、私が追いつくのに五分もかかるのに、あの人は文句も言わず、いつも満面に笑みさえ浮かべ、小走りに歩く私をじっと待っていてくれました。肩並べ腰おろしても、私とあの人の顔までが三〇メートルもあるから、とても甘い愛のささやきなんかできやしません。

「あの一！ちよつと、寒いですね！」
声の限りどなると、まるで気が付かなかった事を恥じるように、

あわてて私の肩に手をまわし、やさしく抱き寄せようと思いました。が・・・、危うくその手に押しつぶされそうになりました。ちょっと照れながら「ごめん」と一言つぶやいた彼でしたが、「そうだ！」とばかり気を取り直し、今度は私に向かって大きく口を開け、ゴォーと火を吐き・・・、危うく、焼き殺されそうになりました。目を伏せ、頭を垂れ、シッポを丸めて小さくなり、自分のあまりのいたらなさに悲しく沈んだ彼に向かって、あらん限りの声で私は言いました。

「もう、もういいんですよ！わかってますから！」

恥ずかしがり屋のあの人は、やっぱり奥手なものでしょう、デートはいつもプラトニックなものでした。でも、自分の生い立ちや家族の事、子供の頃の話や今考えている事など、ついに話し尽くされ、お互い話題をなくして黙り込んでしまったある日、あの人はそっと手のひらをさしのべ、私はその上に促されるままに乗り、あの人の口元まで私は持ってゆかれ、・・・。

初めてのキスは、放射能の味でした。いいえ、天使みたいな人でなく、本物の天使になりたいんです。信じなければ救われな

い神様でもなく、やさしさがいつも優柔不断にすり変えられてしまふ人間でもなく、怒りや、悲しみや、淋しさや、憎しみや、全てをただ黙って微笑み返し、あの春よりもやさしく、あの夏よりもおおらかに、あの秋よりも美しく、あの冬よりも清らかで、あの太陽よりも暖かい光の降る音に満たされながら・・・。

父に・・・、父に会って下さい！母はきつとわかってくれると思います。おばあちゃんや妹達だって喜んでくれるはずです。ただ、父が・・・。父はとってもガンコで、わからず屋なんです。古い人間で、私が誰を連れて行ったって反対するに決まっています。だから口だって聞いてもらえないかもしれない。会ってももらえないかもしれません。でも、本当は、とっても心のやさしい父なんです。誠意を尽くせば、きつとわかってくれると思います。だから、だからゴジラ、私と一緒に山を降りましょう！私と一緒に街へ行き、父に会って下さい！

プレゼンター

一九八六年一月二日一六時。激しい活動を繰り返していた山頂の火口からの噴火がしばらく途絶えた。大島測候所の研究者たちは、その不気味な静けさに、誰もが次に起こる何かを予感し

た！一六時一五分、カルデラのほぼ中央、鎧端と剣ヶ峰を結ぶ線上から白い水蒸気が上がった。水蒸気はやがて黒い噴煙に変わり、またたく間に、赤い灼熱の溶岩を噴き上げた。一六時二七分、第二の割れ目が、第一の割れ目の延長方向からややずれた剣ヶ峰寄りに開いた！容赦なく目の前に広がる噴煙に、警官が避難を叫ぶ。命知らずの報道陣も、一步また一步と後退せざるを得なかった。深まりゆく夕暮れを、黒煙が半分以上覆いつくし、逃げ惑う人々をひとり、またひとりと消してゆくその様は、まるで終末を迎えた地獄絵のそれだった。大島測候所は、十二年ぶりに活発化した三原山が、全域にわたり、大きな被害を与える可能性を確信し、東京都知事に全島民の避難を要請した。三原山火口の中央は、今にもあの灼熱の溶岩が噴き上がるはずだった。しかし、暗雲たちこめる中、黒煙を割って現われたのは、天使を夢見る一人の少女と、そして、ゴジラだった！

やよい

もっと右よー！そこに私の出た小学校があるから、グラウンドに右足をおいてー！左足はー、その赤い屋根の横に牧場があるからー！牛さんに気をつけてー！しっぽ！しっぽに気をつけて！引

きずつちやダメ！手でしっぽの先を持って、そう、こうやって、
背負って下さい！火を吐いちゃだめでしょ！えっ、杉の木が足に
刺さったの？大丈夫ですか！もうすぐだから！見えるでしょ！あ
の青い瓦屋根の二階家が私のお家。淡いブルーのカーテンのかか
った所が私のお部屋です！身だしなみは、大丈夫ですか！父には、
父にはゴジラ、ちゃんとあいさつして下さいね！

プレゼンター

愛か、幻か！はたしてゴジラを率いる少女の行手には、何が待
ちかまえているのだろう。人類の暴挙で生まれたゴジラの目は、
しかし、野に咲く一輪の花に涙する乙女のそれよりも、やさし
い！

暗闇の中、わずかにせせらぎの音が流れる。
ししおどしが乾いた風を割って、心の芯まで響き渡る。

姉

・・・お父さん、やよいさんを僕にください！

父はもくもくと茶をたてている。

実にナイーブな茶です。母さん、エサをまいておやりなさい。ついでに間は、さえずりも止む事だろうし、なあと、腹が満ちればきつと、何もかも忘れて、野鳥も寝ぐらに帰って行く事でしょう。

あなた・・・。

お父さん、僕達愛し合っているんです！

お父さん、私この人の事、愛しているの！

何をやっているのですか母さん。私は別に、あの野鳥を撃ち殺し、今晚の食卓に加えなさいと言っているわけではないのですよ。十分にエサを与え、腹満たし、巢に帰しておやりなさいと言っているのです。

お父さん。話ぐらい聞いてくれたっていいでしょ！

てやんでいー！こいつはね、オレの目と耳と鼻とこの腕つぶしで選んだ男の中の男ってやつと一緒にさせてやるんだ！・・・と、私が言っていたと母さん、伝えて上げなさい。

今日はもう、ね・・・。

覚えていますか、母さん。この器。確かあの子が生まれた時、貰えなかった私達にはかなり高価だったけれども、記念にと買ったも

祖母

のでしたっけね。ヒビひとつ入れることなく、いつの日にか、あの子が嫁ぐ時、持たせてやろうと毎日毎日丹念に磨いて……。でもね、母さん、まだまだ手離せませんよこの器。裏千家一之瀬流跡取りとして名に恥じない家庭を築ける、立派な男を連れて来るまでは、死んでも手離しませんよ！

……よし！よく言った！

拍手！

見なおしたわ、お父さん！

ステキよ、お父さん！

ほんと！

さすが我が息子。丹精に育てた苦労がやっと報われたね。「裏千家一之瀬流跡取りとして名に恥じない家庭を築ける、立派な男を連れて来るまでは、死んでも手離しませんよ！」こんだけ派手に見栄切られちゃったら、いくら志高い青年だって、一歩も二歩も引き下がっちゃいますよ。そこいらの大学出たてのサラリーマン

ンだったら、しっぽ巻いてキャンキャン吠えながら逃げ出す事
でしょう。

「よかった、よかった」と父を誉め称え、父は照れながらも、どさ
くさにまぎれて父権復活を試る。

祖母

父

祖母

母

祖母

しかしだね、やよいが生まれた時に買ったこの器、貧乏だったあ
なた達には、かなり高価だったこの器が・・・ドラエモンか？
お、お母さん。それはですね、つまり、適当な湯呑みがなくて
ですね、だったらいっそのこと、あの子のお気に入りのこの湯呑
みならリアリティが、
そんなところでリアリティ出すんじゃねえ！あー、何の為に死んだ
父さんとあんなに苦労して大学までやったんだろ。母さん、情な
くなってくるよ。
私もね、言ったんですよ。いくらなんでも、これじゃあ・・・。
でもね、この人言い出したら聞かないから。ガンコでしょ。
ガンコもハンコもないでしょ。夫の恥を事前に察知し、そっと耳
うちして、人前に出る前に食い止めるのが貞淑な妻の役割だし

祖母 姉妹

祖母
姉・妹

父 姉妹 母

よ！

ねえお母さん、私達もういいでしょ。
付き合ってらんないわ。遊びに行こ。

お待ち！ほら、そのこまかいの二人、お前達だよ。いいかい、
お前達だって、義務教育をラストスパートしてるんだろ。来年は、
二人、双子そろって、花も恥じらう女子高生じゃないか。古来日
本が生み出した伝統的作法がだよ、こんな湯呑みで事足りるわけ
がない事ぐらい、わかるでしょ？

わかんない。

口そろえて「わかんない」じゃないだろ。いいわよ、いくら双子
の姉妹だからって、生まれも違う、育ちも違う、顔もぜんぜん似
てない役者二人で頑張ってるんだ。お客さんにね、私たち双子の
姉妹なんだよってことを、わからせてあげなさい。

ねえねえエミちゃん、ちよっと新聞取りに行つて、
私ユミ！

ねえねえユミちゃん、ちよっと買い物、

私エミ！

お母さん、やっぱり無理なんですよ。

て父

祖母

母

父

そうだよなア。とりたてて由緒あるわけじゃなし、3DKの建
売りで、ローンだってまだ3年残ってるし、父は大卒のサラリー
マン、職場で知り合った事務員と結婚し、子供は三人、家族旅行
は年一回。その為に、タバコ代節約しているようなスキだらけの
家庭がですよ、娘の婿取るのに、どんなケチのつけようがあるっ
て言うんです。

お前ね、何弱気になってるんだい。いいかい、これはいわば、結
婚前のセレモニーだ。はなっから諸手上げて賛成したら、あの子
たちだって、張り合いがないじゃないか。幾多の試練を乗り越え
て、愛の絆を、より強固なものにしてだね、来たるべき、怠惰と、
惰性と、妥協の結婚生活を、少しでも充実したものにして上げる
のが、私達ができる、精一杯の、あの子への愛ってもんじゃない
のか？

お母さん。別に逆らうわけじゃないんですけどね。その、幾多の
試練をやつ。見栄張らないで、普通の所でやりませんか？方角が悪
いとかが、名字の画数が合わないとか。

宗派が違うとか、生まれた所が、千葉、埼玉、群馬、茨城は絶対

祖母 だめとか。

祖母 お前ね、それじゃあドラマがないでしょドラマが。

祖母 どうせ許すんだったら、何だっぺいいじゃない。

祖母 そうよ、そうよ、最初に頑張られちゃったら、私達の時なんかどうなるの？

祖母 まあ、どっちかが血を見るだろうね。

祖母 冗談じゃないわ。それじゃあ私達、プロレスラーとかしか結婚できないわけ！

祖母 だから、どうして勝とうとするの！お父さんが血まみれになってもいいのか？別に勝ち負けの問題じゃないだろ。

祖母 だって、それで、後で丸くおさまればいいわよ。血流しながらベソかいて、逃げ出したらどうするの？

祖母 お前ねえ、そんなヤツ、婿にしてどうするの。

祖母 そうよねえ、今時の若い人に、そんな根性すえた人間、なかなかいないもの。

祖母 いやだあー、ヤクザと結婚するなんて、いやだあー！

祖母 頼むよ、ヤクザとか、プロレスラーとか。

祖母 上等だよ。わたしやいつだって、受けて立ちますよ。

父 妹

姉 母

父

ハヤタ

父 母

ハヤタ

妹 姉

ハヤタ

だからね、お母さんも、お願いしますよ。

ね、だから、ここは軽く、社交辞礼程度に反対して、二、三回通
わせて、誠意だけ確かめればいいじゃない。

そうしましょ。そうしましょ。

いいんじゃないですか、お父さん。

まあ、今回は、わが家にとって、初めての事でもあるし、娘はあ
と二人もいるんだから、肩ならし程度に・・・

肩ならしですか、一之瀬さん！

ハ、ハツちゃん！

あらまあ、いついらしたの？

大島元町派出所勤務の警官という聖職の身でありながら、盗聴及
び、家宅不法侵入という重大な罪を犯し、痛み入る次第ではござ
います、・・・肩ならしとは聞き捨てなりませんね、一之瀬さ
ん。

あーあ、大変なのが来ちゃったわね。

やっばり、血を見なきゃ済まないみたい。

一球入魂でしょ。全力投球して何としてでも投げ勝っていたか
ないと！

父

母

ハヤタ

父 母

父

祖母

父 祖母

い、いやあ、すぐにでもだね、君に知らせようと思っていたんだがね、ほら、あまりにも急な話だったんでね。

そうなのよ。ついさっき、やよいから電話があつて、いきなり「会つてもらいたい人がいるから、今から連れて行く」でしょ。私達にも皆目見当がつかないのよ。

まあ、お聞きするまでもないですが、もちろん、断わっていただけるんでしような。

そ、そりゃあ、もちろん、なあ母さん。

え、ええ、もちろんですとも。許婚のハヤタさんてものがありながら、あの子もほんとに、何考えてるんでしようね。

まあ、どっか頭でもぶつけたんだろ、一時的な記憶喪失つてやつだよ。心配する事ないさ、ハツちゃん。

あら、ツムギさん、とりたてて由緒もない、スキだらけの家庭は、娘のムコ取るのにどんなケチのつけようもないんじゃないんですか？

お、お母さん、嫁と姑やつてる場合じゃないでしょ。

かわいそうよね、ハツちゃんも。こんなちっちゃな頃から「やよい命」って彫りものして、ひたすらあの子との、甘い結婚生活

父

母

祖母

姉・妹

父

祖母

姉・妹

祖母

姉・妹

母

父

を夢見て独身通してきたんでしょ。あの子も罪な子よね。お母さん、まだどんな男連れて来るかもわからないんだし、決まったわけじゃないでしょ。

そうですよ、ハヤタさん。私達だって、そう安々と娘取られる程、お人好しじゃありませんからね。

東大出てたらどうする？

うっそー！ほんとに！

そ、それは、まあ、東大だってピンキリだし、別に学歴なんか・

一流企業の社員だったら？

すてきー！

そりゃあ、まあお給料が良いに越した事はないですけど。

どう安く見積ったって、大島元町派出所の交番勤務とじゃあね。

それに、こんなのはどうだい。大財閥の次男坊。「お宅は、娘さんばかりですから、お望みとあらばムコ養子でも」

最高！

ムコ養子ともなれば、持参金だっつくでしょうね。

そんなもんじゃすまないよ。何てったって、親戚付き合いするん

姉 妹 姉

ハヤタ

だから、「お宅もうちの息子が一人増えるとなれば、この家じゃ、ちよつと手狭でしょう」なんてちよつとイヤミ言われるかもしれないけど、「二軒買ったとき買ったから、よろしかったらお使い下さい」なんちゃって。

大財閥だったら、もう一人くらい息子いるわよね。

ずるい、ずるい、私のは！

大丈夫よ、彼の友達紹介するから。

あーもしもし、署長ですか、ハヤタですが、実は、さつきちよつと拳銃落としてしまいましたね、ええ、玉も六発入ってました。紛失届け出しといて下さい。悪いヤツに拾われなきやいいんですかね、ハハハ・・・。ガチャ。

拳銃って、ハツちゃん、それ・・・。

父

銃を構える、ハヤタ。

警察官という職業柄、やよいへの一途な思いを、その銃口に託すより他に、術がない。

ハヤタ

山頂へ通じる木立に囲まれた小道をあの人と歩けば、木漏れ日

父 母 姉 妹
ハヤタ

に見え隠れする笑顔がとてもまぶしくて、思わず立ち止まり目を細めます。潮風に髪とかし、頬ぬぐう仕種がともかわいくて、肩引き寄せ抱きしめた時、「いつ見ても、海は輝いているから」と呟いたあの人の声が、今も耳に離れません。誰にどんなに傷つけられようと、涙ひとつ見せず、誰にどんなにだまされようと、いつも笑顔で許してしまう彼女を守りぬくことが、僕の生まれてきた使命なのだ、と、笑顔絶やさぬその唇に誓いました。甘い言葉のひとつでもかけよう男がいたら、背負い投げで海へ放り込み、すれちがいざま彼女に振り向き、色目使おうものなら、巴投げで三原山へ投げ飛ばし、その度警察に捕まっていた僕は、もう、警察官になるしかなかったのです！

わ、わかった、ハツちゃんの気持ちには、よおーくわかったから。ね、もうやめましょ。話せばわかる事よ。

明日の朝刊が楽しみです。」「大島元町一家惨殺！警官の落とした拳銃を拾った狂人の犯行か！」

ちよっとー、一家惨殺ってどういう事よ。私達は関係ないでしょ。そうよ、そうよ！そんな十把一絡げみたいな死に方、したくないわ。

ハヤタ

お宅はいつたい、どういう躰けをしてるんですか？やよいさんを、あんなに天真爛漫に育てておきながら、これは一体、何なんですか。お前らちよつとは、姉さん見習ったらどうなんだ！

姉・妹

冗談じゃないわ。

妹

どんくさくて、お人好しで、化粧が下手で、オットリしてて、ヤボツたくて、優柔不断で、センスがなくて、のろまで。

ハヤタ

くそお、ステレオでのしりやがったな。許せねえ、お前から殺ってやる！

祖母

まあまあ、ハツちゃんも、早まるんじゃないよ。相手の男を見てからだって、遅くはないじゃないか。

ハヤタ

だって、東大出て一流企業で、大財閥なんですよ。たとえばの話でしょ、たとえば。

祖母

たとえばの話でしょ、たとえば。妹　なあーんだ！

父・母・姉・妹

てめえらなあ！

レポーター

はい、こちら大島元町です。三原山から突如現われたゴジラは、ゆっくりとこちらに接近しつつあります。しかし、ゴジラはなぜか、まるで、誰かに導かれるように、民家や施設をたくみに避け、その歩を進めているので、今のところ、大きな被害は出てい

ない模様ですが、大島一の港町、元町に足を踏み入れたが最後、
21
大きな被害は避けられませんが。島民も、そのほとんどが避難を終
え、最後になった島民たちも、元町港に着岸された巡視船「かと
り」に乗り込み、今まさに、出港するところです！

ハヤタ
レポーター
な、なんだ、お前は？

レポーター
あっあんた達、何してるんだ、こんなところで！

姉
ハヤタ
ねえねえ、ゴジラって何よ？

そ、そうだ、すっかり忘れてた。こんな事してる場合じゃないん
です。ゴジラがこっちに向っているんです。やよいさんは何処へ
行きました、やよいさんは！

父
ゴ、ゴジラって、あのゴジラかね？

姉・妹
松井が来てるの！？

それぞれ口々に

一同
ゴ、ゴジラ！

レポーター
な、何にも知らないんですか！もう、すぐそこまでゴジラはやっ
て来ているんですよ！

父 母

お、お父さん、どうしましょう！
あ、あわてるな、とにかく、持って行ける物だけでも持って行かないきゃ！

家族、パニックになる。

祖母

ウム、とうとう現われたか。

レポーター

とうとうって、おばあちゃん、何か知ってるんですか？

祖母

三年前、三原山の火口におびき寄せ、息の根を止めたはずだったんだが・・・。

父

お母さん、そんな事どうでもいいから、早く逃げましょう。さあ、お前たちも！

ハヤタ

えーい。ちょっと待て、ちょっと待て。やよいさんはどこへ行ったんだ！

父

わからんよ。こっちに向ってるはずなんだが。

妹

はやく逃げようよー！

母

やよいだって、きつと港に向っているはずよ。私達も早く！

ハヤタ

お前らだけ助かるうたって、そうはさせんぞ！やよいさんを見

レポーター

つけ出すまでは、一步たりともこの家から出さんからな！
視聴者のみなさん、ご覧下さい！一介の観光地大島に、今、息を
呑むドラマが展開されようとしています。もはや、数百メートル
にまで迫ったゴジラを背に、これまた一介の大島派出所警官が、
愛する女の安否を気遣うあまり、気がふれ、狂人と化し、拳銃を
ふりかざし、その家族を人質に立てこもる。私は、この場に立ち
会えた事を神に感謝し、ゴジラに踏み潰されようが、食い殺され
ようが、ニューズレポーターとして、最後まで職務を全うしよう
と思いません！

ハヤタ

レポーター

おい、誰が気がふれたんだ？誰が狂人なんだ！
い、いや、そうした方がですね、話がスムーズに……。

ハヤタ

じゃあ、もっと面白くしてやろうか。まず、お前から！
や、やれるものならやってみる！

母

やよい

ハヤタ

や、やよい！
あら、ハヤタさん、いらしてたんですか？
いらしてたはないでしょう。どこへ行ってたんです。さあ、逃げ
ましょう！

やよい お父さん、連れて来ました。お願いします。会って下さい。
父 そ、それどころじゃないぞ。すぐ逃げないと！
姉・妹 お姉ちゃん、早く逃げようよ！
レポーター も、もうだめだあ！すぐそこまで！

一同大パニック！

やよい どうぞ、入って来て下さい！
父 ど、どうぞって、今それどころじゃないって、

バリ、バリ！

ゴジラ こんにちは、お邪魔します。
一同 ワアー！
やよい お父さん、紹介します。ゴジラさんです。
父 しょ、紹介するって、お前・・・。
姉・妹 お、お姉ちゃんの相手って！
一同 ゴジラ！

ゴジラ
レポーター

はじめまして。ゴジラです。

こ、これは、大変な事になりました！人類史上始まって以来の快挙です。

何が快挙だよ。お、おいゴジラ、お前、何考えてんだ！

ハヤタ
ゴジラ

はじめまして、あなたは？

ハヤタ

ば、ばか、近づくな！踏みつぶす気か！

ゴジラ

すみません。

ハヤタ

オ、オレはな、彼女の許婚なんだ。わかったか！

やよい

この人はね、幼なじみなんです。子供の頃からいつも守ってくれました。

ハヤタ

やよいさん。あなた一体何考えているんです。よりによってこんなヤツ連れて来て。あー、もしかしてお前、力尽くで！許さん、

オレは絶対許さんぞ！

父

ま、まあまあ、ちよつとハヤタ君、待ちたまえ。

ゴジラ

お父さんですか。はじめまして、ゴジラです。

父

わ、わかったから、それ以上近づかないでくれ！

ゴジラ

す、すみません。

ゴジラ、後ろにさがる。

母
ワアー！足足足！

バリ、バリ、バリ！

母
やよい
あーあ、となりの伊東さんち、ペチャンコよ！

父
やよい
気をつけて下さいね。あとで私と一緒に謝りに行きましょう。
や、やよい、とにかく、こっちに、こっちに来なさい。

母
そっといらっしゃい。気付かれないように。

父
ハヤタ
ハツちゃん、君は何でもいいから、ゴジラの気を引いてくれ。
わかりました！おい、ゴジラ！

と言ってハヤタ、ゴジラの気を引く。

母
やよい
今よ！

父
やよい
あー、やよい、ケガはなかったかい？
ケガって、お父さん？。

母 やよい
母 やよい
父 やよい
妹 母
姉 妹
姉・妹
ハヤタ

ガ
オー！

恐かったのよね。でももう大丈夫。私達がついているからね。
お母さん！
さあ、やよいさん、急いで逃げましょう！
ちよつと待って下さい！
さあ、みんな逃げるぞ！
あなた、おばあちゃんか・・・。
どうせ、一人でこっそり逃げ出したんだわ。
そういう、ばばあよ、あいつは。
気にする事ないわ、逃げましょ、逃げましょ。
さあ、早く！

うわー！
だめでしょう、驚かさないで下さい！
ごめん。でも、あんまりみんなが、あなたの話を聞こうとしないから。
ごめんなさい。悪気はないんです。だから、もう逃げるなんて言

わないで下さい。

お、お姉ちゃん、本気じゃないんでしょ？

一流企業はどうしちゃったの、大財閥の次男坊はー！

やよい、どっか頭打ったんだろ。

本気じゃないわよね、やよい！

レポーター

ちよつ、ちよつと待って下さい。どうしてみんな寄ってたかって

、話をつまらなくしようとするんです。こんな話、めったにあり

ませんよ。いいじゃないですかゴジラだって。世界中が今このお

茶の間に注目しているんだから、もう少し話を面白く・・・。

ハヤタ

よおし、わかった、それ以上しゃべるな、面白ければいいんだろ

。おい、ゴジラ、本当は腹が減ってるんだろ。こいつをやるから、

煮るなり、焼くなりしていいぞ。「突入レポート、ゴジラの胃

袋！」ピューリッツァ賞ものだぜ！さあ行って来い！

じよ、冗談じゃありませんよ！

レポーター

ハヤタさん、私達、食事は済ませませんでしたから。

や、やよい。お前、腕は二本あるの？足も二本あるのね！

ど、どこを食べられたんだい。嫁入り前なんだから言ってごら

ん、やよい。怒らないから、正直に言ってごらん。

レポーター
やよい
母
父

ハヤタ
吐

やい！ 貴様、何て事してくれたんだ。吐き出せ、この場ですぐ

き出しやがれ！

私は大丈夫です。この人が私を食べるなんて。

あの、じゃあ食事って。

やよい
レポーター

途中の牧場で、牛を一頭……。でもちゃんと、お金は置いて

きました。

レポーター

で、あなたは？

やよい

やさしいんですよこの人。一番おいしい所をちぎってくれて、ゴ
オーって、レアに焼いてくれました。おいしかったですね、ゴジ

ラ！

うん！

ゴジラ
レポーター

視聴者のみなさん、ご覧になりましたでしょうか。人類の宿敵ゴ
ジラが、一介の地、大島元町に生まれました、たった一人の少女の笑

顔に、完全に手なずけられてしまいました！ もはや、日本に安保

も自衛隊も必要ありません！ 太平洋の見渡せる丘に、彼女とゴジ

ラの新居を構えましょう。核兵器がなんだー！ 普天間がどうした

ー！ 日本はもう、恐いものなしです！

やよい

てなずけるなんて、そんなんじゃないありません！私達、愛し合っているんです。

妹

お姉ちゃん、ちょっと真面目に生きすぎたんだよね。

妹

私達みたいに、ちよつとずつ人の道からはずれた生き方すれば、

いつだって堅気に戻れるんだけど。

妹

超越してるもんね、ゴジラと肩並べて「私達、愛し合ってるんで

す」

ふつう、言えないよ。

姉

ね、お姉ちゃん、いい男紹介するからさあ。

妹

強いのが好きなんだったら、やくざとかプロレスラー紹介しちゃうから。

ゴジラよりいいと思うよ。

妹

エミちゃん、ユミちゃん、聞いて、お姉さん、真面目にこの人の

やよい

事、愛しているの。

いやだー！ゴジラの兄弟なんて、いやだー！

姉・妹

て、てやんでい！愛だと？笑わせるぜ！こいつはね、オレのこの

父

目と耳と鼻と、この腕っぷしで選んだ男の中の男と一緒にさせて

やるんだ。あんたみたいな青二才のひよーろく玉と・・・。

母

あんた、腕つぶしは強そうだよ。

てやんでい！

父

それにお父さん、腰が逃げてますよ、腰が。

ハヤタ

とにかく、話だけでも聞きましょうよ、お父さん。

レポーター

話ってね、あんた、一体どんな話があるっていうんだ？

レポーター

たとえば、二人の馴れ初めとか。

ハヤタ

なれそめ？どんな馴れ初めがあるっていうんだ？

レポーター

だからです、ね、学校時代の同級生だったとか。

ハヤタ

お前ね、日本はゴジラにまで義務教育を課しているのか！

レポーター

街を歩いていたら、道を聞かれたとか。

ハヤタ

聞き終わる前に、自衛隊が出動するだろうが！

やよい

山で会いました。人目を避けて、岩になっっているこの人の体に、スマイルの花が咲いていたから、そばまで行こうと登って行ったんです。そしたら、

山の頂き。草木に囲まれ、岩肌に紛れていたゴジラは、少女の気配に、長い眠りから、目を醒ます・・・。

ゴジラ やよい
ゴジラ やよい

こんにちは。

・ ・ ・ こんにちは。

ごめんなさい、驚かせてしまいましたね。

いいえ ・ ・ ・ 何をしているんです、こんな所で。

眠っていました。

ごめんなさい。私が起こしてしまっただけです。

いいえ、ちょうど寝疲れたところですから。

どれくらい、お休みになっていたんですか？

もう、三年になりますか ・ ・ ・ あの、恐くないんですか？

何がです？

・ ・ ・ あの、僕が。

ぜんぜん。どうしてです？

みんな、僕を見ただけで、逃げ出しますよ。

・ ・ ・ あのー少し低くなって下さい。私は大丈夫だから。

は、はい！

きつと ・ ・ ・
きつと？

ゴジラ やよい

きっとあなたが、やさしい目をしているから……。
て、照れるなあ。

ガオー！

ゴジラ やよい
ゴジラ やよい

あ、ごめんなさい。ヤケドしませんでしたか。

大丈夫、フフ……。

えっ、何がおかしいんですか？

かわいいですよ。

えっ？

しっぽの、このスマレ。

あっ、はい。

私、スマレの花大好き。大事にして下さいね。

はい！

私、一之瀬やよいです。あなたは？

す、すみません。申し遅れました。僕、ゴジラです！

ガオー！

一同

ハヤタ

ゴジラ

やよい

ハヤタ

レポーター

ハヤタ

父

ゴジラ

父

ゴジラ

父

母

ウワァー！

いちいち火を吐くな、火を！

す、すみません！

お父さん、この人、本当はとっても良い人なんです。

人じゃないでしょ、人じゃ！

まあまあみなさん、ゴジラも危害を加える気配もないようですし

、ここはひとつ、ひざを割ってですね、話し合おうじゃないですか。

黙ってろって言うのがわからないのか。

お前達の話は、まあわかった。仮に愛し合っているんだとしよう

。それで、どうしたいんだね、まさか・・・

お父さん、彼女と結婚させて下さい！

君、どーでもいいけど、ひざの下。

えっ？

君のひざの下で、ブリキの板みたいにペツタンコになってるやつ

、去年買い替えたばかりの、家の車なんだけどね、ワー！

やよい、何度も言うようだけど、本気じゃないんだろ？

やよい

父

妹

姉

やよい

一同

やよい

私達、結婚を前提に交際してきました。

どこの世界に、結婚を前提にゴジラと交際するヤツがいるんだ！
いくらお姉ちゃんが世間知らずだって、結婚するって事がどんな
事かぐらいわかってるんでしょ。

ダメダメ、この人の世間知らずは度を越しているんだから。
わかっているわ、結婚で……。

結婚て？

愛を永遠に誓い合う事！

不条理の間。

ハヤタ

レポーター

好きだ！そんなやよいさんを愛し、独身を貫き通した事にまちが
いはなかった事を今、新たに確認しました。

視聴者のみなさん、荒みきった私達の心が忘れかけていた言葉を
今、少女は笑みさえ浮かべて言い放ったその声は、あたかも天使
のささやきに聞こえたのは、私だけでしょうか？感性に乏しい凡
人達は、今、あんぐりと大きな口を開け、呆然自失と佇んでおり
ます。

ゴジラ

父

ゴジラ

父

一同

父

母

ゴジラ

母

ゴジラ

お父さん。

あつ、は、はい！

僕は絶対にやよいさんを幸せにしてみせます。だから、やよいさんを僕に下さい！

は、はい、どうぞ！

お父さん！

じよ冗談じゃない！

あなたね、結婚するって事はよ、結婚式を挙げなきゃならないの、わかる？女にとっては一生に一度の晴れ姿を、親戚、友人一同集めてお披露目し、神の前で夫婦になる事を誓い合う。

あの、僕、無宗派ですから、神社でも、教会でも。

そういう事じゃないでしょう！つまりね、私の家としても、私の実家とか、兄弟とか、この人の兄弟とか、おじさんとかおばさんとか、それなりに呼ばなきゃならないわけ。したら、当然、世間の釣り合ってもんがあるから、あなたの所だって、同じぐらいの数呼ばなきゃならないでしょ。

なあんだ、そんな事でしたか。僕にも兄弟や親戚は沢山いますから、安心してください。ガッパでしょ、カメラに、ラドン

母

や・・・。

ゴジラ

安心できないから言ってるんでしょ！あなたでさえ持て余しているっていうのに、結婚式のために、そんな怪獣大集合したら、中国やアメリカだって、ふつう黙っちゃいけないわよ。お祝いのミサイル、ビュンビュン飛んで来るじゃない！

ミサイルぐらい、僕らビクともしません。だから、あなた達はそれでいいでしょうよ、あなたたちは。私達はどうするの、私達は！

やよい

お母さん、それは私が、オバマさんや胡錦濤さんに、お願いしますから。

母

やよい、真面目な顔して、そういう事だけは言わないで。お母さん決して、教育方針間違ったとは思いたくないんだから。

父

だいたいね、式場はどうするんだね、式場は。ちょっとないよー。君の親戚集めて納まる器が。東京ドームとかだつて、怪獣一匹も入りゃあ、一杯だろ。

やよい

ね、ね、あそこがいいわ、お父さんね、私達がよくデートした所で、三原山の火口なんだけど、あそこだったら怪獣の五匹や六匹・・・。

父

だからね、やよい、ちょっと違うんだな、お父さんの言いたい事
っていうのは、そうじゃなくって、ふつう東京ドームとか、三原
山じゃ結婚式、挙げる人はいないんであって、

やよい

そうねえ、雨が心配だわ、せっかくのウエディングドレスがびし
よ濡れになっちゃうわね。

父

だからね、それもちょっと違うんだな。あのね、雨はまあこつ
ちに置いといてだね。

ハヤタ

じれったいなあお父さん。僕にまかせて下さい！

母・姉・妹

がんばって！ハヤタさん！

レポーター

さあ選手交代です。大島元町派出所勤務、そして一之瀬やよいさ
んの許婚ハヤタ巡査は、どう攻めるつもりでしょう。

ハヤタ

やよいさん、いいですか。ここは落ち着いて冷静に考えて下さい
よ。

やよい

はい！

確かに結婚ていうのは、さっきあなたが言った言葉に尽きる。尽

ハヤタ

きすぎてもう誰も彼も忘れていた事でしたけどね、それはあくま

でも情念の世界であって、現実には、例えば種の起源とか．．．

ゴジラ

ダーウィンですか？

ハヤタ
ゴジラのくせに知識ひけらかすんじゃないやねえ！

やよい
この人、あなたより頭良いんです。

ハヤタ
わかりました、わかりました、ゴジラは私より頭が良いということにしておきましょう。それでですね、やよいさん、子供はどう

するんです、子供は？

レポーター
おっと、これは奇襲攻撃です！突然本質を突いてきましたが・

。

やよい
子供は……。

やよい・姉・妹
妹 コウノトリに運んでもらいます！

妹
言うと思った。

レポーター
軽くかわされてしまいました！

ゴジラ
僕の世界では、ラドンが連れて来ると。

ハヤタ
おちよくっとなのかあ！

父
君ね、やよいは長女なんだから、婿に来てもらわなきゃ困るんだ

よ。立派な子供をもうけてだね、一之瀬家が絶えぬよう、守りぬいてもらわなきゃならんだ。

ゴジラ
まかせて下さい。守ってみせます！相手はキングギドラですか、

バルタン星人ですか？

父 だからね、そういう事じゃないんだ。普通の家にだ、キングギド

ラやバルタン星人が攻めて来るか？

やよい お父さん、この人養子でもいいって言うてるんです。

ゴジラ はい、僕には受け継いでいくべき家も、名字ありませんし、

ゴジラに名字ねえ。そりゃないわな。

ハヤタ お父さん、この人確かにゴジラかもしれないけど、たまたまゴジ

やよい ラだったからで、たとえこの人が、ヘビやパンダやナメクジだっ

て、それがこの人だったら、やっぱり私は愛したと思うんです。

レポーター おっと、これは痛い所を突いてきました。心揺らぐ父と母。

父 お父さんはね、本当はもともとロマンチストだから、そういう良

識派の意見には弱いんだ。

母 ナメクジねえ。まあナメクジ連れて来られるよりは、いいかもしれ

れないけど・・・。

姉・妹・ハヤタ よくありません！

ハヤタ やよいさん、考えてもみて下さい。ただでさえ日本は今、円高

だの貿易摩擦だの、諸外国の矢面に立たされているんです。この

上ゴジラと日本人が結婚したりしたら、軍事的脅威を与えて、

妹 だめだめ、そんな話したって。

姉

この人の頭の中は、お花畑なんだから。

ハヤタ

やよいさん、あなた新聞はご覧にならないのですか？

やよい

ええ、だって手が汚れますから・・・。

レポーター

やよいさん、あなたテレビはご覧にならないのですか？

やよい

ええ、だって、心が汚れますから！

舞台は突然、大海原に変身し、星が満天に輝き始める。

祖母

ええ、だって、手が汚れますから！

まるで往年の映画女優のように、祖母は美しく・・・。

祖母

ええ、だって、心が汚れますから！

やよい

おばあちゃん！

祖母

ごらん、やよい。百万カンデラに輝く太陽に照らし出された海は

、お前に何を捧げる！

やよい

まぶしい程にきらめく、幾千万の宝石たち！

祖母

ごらん、やよい。人々をやすらかな眠りに誘う夜空に、無数に散

やよい

祖母

やよい

祖母

やよい

祖母

ゴジラ

祖母

やよい

ゴジラ

祖母

りばめられた星たちは、お前に何を語る！

ささやかな幸せ、そして、つつまじやかな愛！おばあちゃん、あれは何？みんな楽しそう。何を見ているの？

あれはね、テレビといって、心汚す悪い機械なんだ。

ねえ、おばあちゃん、この人たち何がこんなにおかしいの？

まさかお前、チャンネルをバラエティーに！

何を言ってるの、この人たち？

目をつぶりなさい、やよい。バラエティーはね、ひと目見ただけで馬鹿になる！あんなものにまどわされるんじゃないよ、やよい。

野に咲く花達と語りなさい。木立ちをかけぬける風たちのささやきを聞きなさい。生涯、愛だけを見つめ続けた、美しくも純粋な、汚れなき、このおばあちゃんのように！

こんばんは。

何だね、これは？

紹介します、おばあちゃん、この方、ゴジラです。

はじめまして。

そんな事わかってますよ！私が聞きたいのは、何でここにゴジラがいるのかってことですよ。

やよい
ゴジラ
祖母
やよい
祖母
やよい
祖母
やよい
祖母
やよい
祖母
やよい
祖母
祖母

私、この人と一緒にになりたいんです。

ふつつか者ですが、よろしくお願いします。

ふつつかすぎるね。

おばあちゃん・・・。

やよい、こっちへいらっしやい。

はい。

おばあちゃんね、これでもリベラル派だから、別にこいつが人間

じゃないからどうの言うつもりはないんだ。

ありがとうございます。一人でもそう言って下さる方がいると思

うと、僕たち心強いです。

よかったですね、ゴジラ。ありがとう、おばあちゃん。

何を隠そう私もね、初恋の相手は池のお玉じゃくしだった。

あ、あのですね、そんな話聞いた事ありませんよ。

あ、あんたまさか、お玉じゃくしとの間にできた子じゃ？

え、えー！

今思い出しても体が熱くなるような、激しい恋だった。夜、親

の目をぬすんではあの人に逢いに行ったものさ。池のふちに立

ち、水の中と外でじっと見詰め合う私達に言葉なんかいらなかつ

レポーター

祖母

一同

祖母

レポーター

一同

やよい

祖母

た。降る程の星空の下、あの人の体にわずかに生えた手を見つけ
た時、私は震える程喜んだ。一九の乙女が恥じらいながらも、そ
つと指をさしのべた時、水の中であの人は、やさしく爪の先を愛
撫してくれた。私達は神に祈った。「もし、この人を蛙ではなく、
人間に変身させてくれるなら、私達はもう何も望みません！神様、
お願いします！」

で、その願いは届いたのですか？

初めから無理な願いだった。あの人の手や足には・・・。

手や足には！

水かきがついていた・・・。

そんな馬鹿な！

当たり前だろうが！

かわいそう・・・。

私はそれでもいいと思った。しっぽも取れ、蛙として立派に成長
したあの人を肩に乗せ、野をかけ、山を登った。私は一生この蛙
と添いとげる決心はついていた。ある日、あの人が私の枕元に現
われた。私はあの人があつくと、私を抱きに来たのだと思い、私も
その時、許してもいいと思った。でも・・・。

やよい
祖母

母
やよい
祖母

やよい
姉・妹
ハヤタ
祖母

父
祖母
母
父

でも？

あの人がゲゴゲコと悲しげに泣きながら、そっと私に背を向け、おしりを突き上げた時、私は驚きのあまり、声も出ない程だった。あの人には、メスだった……。

よかったわね、お父さん！

おばあちゃん……。

三日三晩泣きはらしたもののさ。もう二度と恋なんかするもんかかってね。弥生三月花もほころぶ春、恋せし乙女の私が十九の初恋だった……。

ステキなお話ですね、おばあちゃん……。

どこが！

好きだ！そんなやよいさんが好きだ！

今は亡きお父さんと知り合っただのは、それから一年、山の中腹の牧場だった。

まさか、牛だったなんて言わないで下さいよ。

牛のしっぽに群がるハエだった。

あなた、ハ、ハエとの間の子だったんですか？

ば、ばか言わないで下さいよ。おやじはちゃんとした人間だった

祖母

やよい

ゴジラ

祖母

やよい

祖母

やよい

祖母

一同

ゴジラ

祖母

じゃ・・・。

ハエとは相性が合わなくてね、一年と長続きしなかった。お前がお父さんと思っただのは、そのあと再婚した・・・。おばあちゃん、おばあちゃんだったらわかってくれますよね。私この人の事愛しているんです。一生この人に付いて行きたいんです。

お願いします。絶対幸せにしますから。

ダメだね。

どうして、どうしてダメなの！

よくお聞きやよい。ヤツには、子供がいるんだ。

えっ！

ミニラ！

えー！

やよいさん、隠すつもりじゃありませんでした。御両親の前でちゃんと話すつもりだったんです。

やよいはね、私にとって、目に入れても痛くない程かわいい孫なんだ。この子はね、私がこの世に存在する全ての汚れを遠ざけて育ててきたんだ。それをどうして子持ちにくれてやる事がで

父

きるんだね。この子にそんな苦勞は、絶対させないよ！
言語道断だ！君、恥かしげもなく、よく「結婚させて下さい」な
んて言えたものだな。自分の子供でもない、ましてやゴジラの子
供なんて育てられるわけじゃないじゃないか！さあ三原山でもどこで
もいいから、とっとと帰ってくれ！やよい、恐い夢を見たと思っ
て諦めるんだ。

母 やよい

私育てます。この人の子供だったら私、育てる自信があります！
やよい、子供だったって普通の子供じゃないのよ。頭ひとつ撫で
てやるんだってほしごかけて登っていかなきゃならないの。おい
たして、押入れに閉じ込めておしおきするんだって、こんな体育
館ほどの押入れ作らなきゃ入らないじゃない。

祖母

やよいが君と結婚して、どれ程苦勞するかは、君が一番よくわか
ってるじゃないか。もし、本当にやよいの事を愛しているんだっ
たら、このまま何も言わず去って行くのが男ってもんじゃ・・・
いや、ゴジラってもんじゃないのかね。

やよい

おばあちゃん、どうしてわかってくれないの。おばあちゃんにま
で見放されたら私どうすればいいの。

じつとうなだれていたゴジラ。しかし、ゆっくりと立ち上がり、大きく両手を広げれば、それはやはり、誰もが恐れをなす、怪獣ゴジラであった。

ゴジラ

僕は・・・、僕は子供がいるかもしれない。再婚かもしれない。僕は、ゴジラかもしれない。だけど、それと・・・：それと、やよいさんを愛しているという事は違うと・・・、違うと思うんです。だから僕は・・・僕は諦めませんよ。

ガオーツ！

一同

ギャー！

ハヤタ

とうとう本性を現わしやがったな！

やよい

ち、違うんです、ちょっと興奮したただけなんです。そうですね

ゴジラ

。ゴジラ！
僕は・・・、

ガオーツ！

レポーター

さあ大変な事になりました！今までまるでネコよりもおとなしかったゴジラが、突然野性を取り戻し、しきりに火を吐き始めました！

父

さあやよい、これでわかっただろう。ゴジラは所詮ゴジラなんだ

母

やよいはね、いつ焼き殺されても不思議じゃなかったの！

やよい

そんな人じゃないんです！お父さんお母さん、お願い、わかってあげて！

祖母

わが家で暴れるとは、何と不届き千万。目にももの見せてやる！

南海のリズムが鳴り響く。

ふと気がつく、身長十センチになった双子の姉妹が、祖母の手のひらで、祈りを捧げるように、「モスラの歌」を唄っている。

レポーター

こ、これは！

祖母

えーい、頭が高い！わが家の守護神、モスラ様のお出ましだ！

一同ひれ伏し、祈りを捧げる。
舞台は、いつのまにかモスラの家になっていた。

モスラ家。

ピグモン

あら兄さん！

モスラ

え？あ。本当だ。兄さん、御無沙汰しています。

ゴジラ

やあふたりとも、元気そうじゃないか。

やよい

あの・・・ご兄弟なんですか？

ゴジラ

ええ、母は遅いですが、僕ら父はみんな一緒なんです。

モスラ

誰？

ゴジラ

紹介するよ。こちら一之瀬やよいさん。

やよい

はじめまして、一之瀬やよいです、よろしく。

モスラ

はじめまして、モスラです。そして家内のピグモンです。

やよい

一之瀬やよいです、よろしく。

ピグモン

いい子ね。私を見てもこんなに微笑みかけてくれる人間は、初めてよ。

やよい

モスラさんは怪獣同志、結ばれたんですね。

ゴジラ
方

ピグモンはね、モスラと同じで怪獣の中じゃ始めから人間の味

51

モスラ

だったんだ。モスラもそこいらへんを惚れて、口説いたらしいよ。惚れたなんて兄さん、そんなんじやありませんよ。

モスラ、糸を吐く。

ゴジラ

た、たのむよモっちゃん。

ピグモン

あんた、売り物なんだからね！もう年なんだし、いくらでも糸吐けるってわけじゃないでしょ。大事にしなきゃ。

モスラ

わかったよ、うるせえなあ。貧乏するよね、女は強くなりますよ。モスラ対ピグモンなんて、はなから勝負にならなかつたはずなのに、今じゃ夫婦げんかしても連戦連敗ですよ。

ピグモン

兄さん、今日は何の用ですか？申しわけないけど、お金だったら家も借金返せない状態だし、でも、それ以外だったら何でも言うて。

ゴジラ

そうじゃないんだ。

モスラ

わかった！ハリウッドもパツとしなかつたし、映画はもう引退で

すね。挨拶回りでしょう。

違うんだって。

まさか兄さん、この子を主役に、もう一本、撮るって言うんじゃないでしょうね。こう言っちゃなんですけど、どんな可愛い子出しても、スパイダーマンには、勝てませんよ。
じつはね、兄さん、結婚しようと思うんだ。

ほんとうですか！

あらまあ、それはおめでとうございます！で、お相手は？エビラ？ゴモラ？それともパゴスかな？まさかバルンガじゃないわよね。あんな岩のかたまりみたいなのやっ、兄さんが好きになるわけないものねえ。もしかしてジャミラ？こう言っちゃ何だけど、あの人がだつたらよした方がいいわよ、近所の評判よくないし。

ばか、あれはオスだ。

どーでもいいんじゃない、怪獣なんだから。だいいちオスとかメスとか見分けつかないじゃない。この前もね、ゴメスとヒドラが祝言あげたんだけど、初夜の晩、初めて気がついたらしいわよ。お互いメスだって。そりゃあもう大騒ぎだったらしいわ。

実は、この人と結婚しようと思うんだ。

ゴジラ
ピグモン

ゴジラ
モスラ
ピグモン

モスラ
ピグモン

ゴジラ

モスラ

ゴジラ

ピグモン

ゴジラ

モスラ

ゴジラ

やよい

モスラ

モスラ

モスラ

モスラ

モスラ

モスラ

モスラ

モスラ

モスラ

誰が？

兄さんが。

誰と？

この人と。

・ ・ ・ じゃあね、兄さん元気で。仕事の途中で手が離せないから

失礼しますよ。

モっちゃん！

モスラさん、私サナダ虫とかミミズとか、あまり好きじゃないけど

ど努力します。だから私達の事、わかって下さい！

・ ・ ・ あのね、お嬢さん。サナダ虫とかミミズは一生、サナダ虫

とかミミズで、そのいみじくも、はかない生涯を全うするんです。

私はね、今でこそこんなチョコレートパンみたいな格好して、大地

地を這いずっていますからね、いつの日か、目にもあざやかな成虫

に変身する、れっきとしたモスラ族の幼虫なんだ！

ごめんなさい。怒らせてしまいましたね。

気持ち悪いんでしょ、別に努力なんかしてほしくありませんね。あ

ーやだやだ、年はとりたくないもんだ。これでも昔は怪獣の中で

もアイドルだったんですがね。

ゴジラ
ピグモン

モっちゃん、そんなに怒るなよ。
兄さん、一体何考えてるんです？

ゴジラ
モスラ

とってもいい人なんだ、やさしくて、きれいで。
わかりますよ、僕だってそれくらい。もしこの人が、ゴジラだっ

たら、しっぽもスラツとしていて、口もシャンとのびていて、さぞかしいい色の火を吐くでしょうよ。

やよい

愛し合っているんです、私達。

ゴジラ
モスラ

そういう事なんだよ、モっちゃん。

「そういう事なんだよモっちゃん」じゃないでしょ兄さん。どうして兄さんは、そうやっていつも僕達を困らせるんです？いつだったかもそうじゃないですか。東宝50周年記念、超大作『ゴジラ』。鳴り物入りの『ゴジラ』があれですか？

やよい

「・・・しかし防衛長官、現在の日本の武器でゴジラの熱線に耐えられるものがありますか？」

「・・・ある。君」

モスラ
ピグモン

「はい。これは首都防衛のため極秘に開発されたもので、外装はチタン合金、集積回路はプラチナを多量に使用し、かなりの高熱にも耐えられるよう設計されたものです」

モスラ

一同

モスラ

ゴジラ

やよい

ゴジラ

やよい

ゴジラ

モスラ

やよい

「いわば空飛ぶ要塞、その名もスーパーX！」

「スーパーX」

なんなんだよ、スーパーXって。洗剤の名前じゃあるまいし。よく恥かしくもなく、あんなのと戦えましたね。どうせ戦うんだったら、スタートレックとかと戦ってほしかったです。それに何ですか。ここらへん、渡り鳥が通過して、兄さんが振り向いたら、夏木陽介が「ゴジラの磁性体に渡り鳥の声が共鳴したんだ。そうか、ゴジラにも帰巢本能があったのか！」違うでしょ兄さん。いい女がいたから振り向いたんでしょ？

実は・・・そうなんだ。

まあ、浮気者なんだから。

あっ、あれは、あなたと知り合う前ですよ。

これからそんな事したら許しませんよ。口きいて上げないから。

やだなア僕が、そんな事する・・・。

イチャイチャするなイチャイチャ。あなたね、自分とゴジラがイチャイチャしている姿想像した事ありますか？普通じゃないよ、普通じゃ。

いいんです、普通じゃなくても。この人が浮気さえしなければ。

モ
ス
ラ

あなたねえ、そうやって問題をすり替えしないで下さいよ。僕がモ
スラだと思ってバカにしてんだろ！

モ
ス
ラ、糸を吐く。

ゴ
ジ
ラ

糸を吐くな、糸を！モっちゃんは興奮するとすぐ糸を吐くんだか
ら。

ピ
グ
モ
ン

いい加減にしなさい！

モ
ス
ラ

すみません・・・。

ピ
グ
モ
ン

ごめんなさいね。

や
よ
い

いいんですよ。

ゴ
ジ
ラ

この人はね、誰かをバカにしたり、恐れたりする事を知らない

んだ。だから僕も好きになっただけだね。

ピ
グ
モ
ン

わかりますよ兄さんの気持ち。でもね兄さん、ハリウッドの映画

で懲りたでしょう。親戚からは白い目で見られるし、怪獣仲間か
らは笑い者だったじゃないですか。もう私達の時代は終わったん

ですよ。

ゴ
ジ
ラ

そうかもしれない。

モスラ
ゴジラ

モスラ

ピグモン
ゴジラ

モスラ

ピグモン
ゴジラ
モスラ

だったらもつと、まじめに生きて下さい！

兄さんはまじめだよ。この人と結婚して、身を固めて、新居を構え立派な子供作って。

違うでしょ、違うでしょ、兄さん！結婚して、身固めて、新居構えてまでは立派ですよ。ちよつと前までビル踏みつぶしたり、新幹線驚掴みにしていた兄さんからは考えられない程の進歩ですよ。でもね、「この人と」っていうのは、ないんじゃないですか。

怪獣だったら怪獣らしく、怪獣の中から選びましょうよ。

ふたりとも。誰かを好きになるっていう事は、そういう事じゃないと思うんだ。僕が好きになったこの人が、たまたま人間だったんであって、たとえ、この人が何かの怪獣であっても、それがこの人だったらやっぱり僕は好きに……。

きれいな事だな兄さん。受け売りでしょこの人の。兄さんはそういう事言えるゴジラじゃない。

じゃあこの人が、ナメゴンだったら好きになりました？
も、もちろん。

気持ち悪いよーベトベトして。動き回るとそこいら中ベタベタになっちゃうんだ。

ピグモン

ゴジラ

モスラ

じゃあ、兄さん、ガマクジラだったら？
だから、それがもしやよいさんだったら。
うるさいよー。夏になるとゲコゲコ泣き出すんだから。それにガマクジラだからね、やたらと潮吹くんだ、これが。
だから、僕はね。

ゴジラ
モスラ

うそだね兄さん！結婚してだよ、初夜の晩、枕並べたふとんにへドラなんか入ってきたらどうする？くせえよー。兄さん、ほんとうの事言っつてよ。兄さんは、この人間の一之瀬やよいさんが好きなんだから。目が口が、鼻が耳が、手が指が、腕が肩が、仕種が声が、髪の毛一本一本が、全てが好きになったんだろ！

ゴジラ

モスラ

ピグモン

昔の栄光にすがってさ、いつまでカツコつけてるつもりなの。
もつとですよ、現実的に、生活に密着したところで生きのび方考えないと、そのうち誰からも相手にされなくなりですよ。

ゴジラ

モスラ

だからこの人と結婚すれば、責任も出てくるし。
わかりましたよ、わかりました。兄さんはどーあってもこの人と結婚したいんですね？

ゴジラ

そうなんだ、僕はもう、この人なしでは生きてゆけないんだ！

モ
ス
ラ
だ

や
よ
い
ピ
グ
モ
ン

や
よ
い

モ
ス
ラ

や
よ
い

モ
ス
ラ

ピ
グ
モ
ン

ゴ
ジ
ラ

モ
ス
ラ

ゴ
ジ
ラ
モ
ス
ラ

ク
ー
ツ
情
け
な
い。
頼
み
ま
す
よ
兄
さ
ん。
ミ
サ
イ
ル
だ
の、
高
圧
電
流
59

の
ビ
ク
と
も
し
な
か
っ
た
ゴ
ジ
ラ
が、
「
僕
は
も
う
こ
の
人
な
し
で
は
生
き
て
ゆ
け
な
い
ん
だ
!」
で
す
か
?

お
願
い
し
ま
す、
私
達
一
緒
に
な
り
た
い
ん
で
す
!

あ
な
た
ね、
一
緒
に
な
る
っ
て
い
う
事
が、
ど
う
い
う
事
か、
わ
か
っ
て
る
の
?

は
い。
。

ど
う
や
っ
て
食
べ
て
く
つ
も
り
で
す
?

野
に
行
き、
木
の
実
を
つ
み、
海
へ
行
き
魚
を
と
っ
て、

わ
か
っ
て
な
い
よ
そ
れ
じ
ゃ
あ
!

兄
さ
ん、
仕
事
は
今
何
や
っ
て
る
ん
で
す
?

仕
事
?

だ
め
だ
こ
り
ゃ、
全
然
だ
め
で
す
よ、
話
に
な
り
ま
せ
ん
ね。
今
ま
で
一
体

何
や
っ
て
た
ん
で
す
!

モ
っ
ち
ゃ
ん、
僕
が
映
画
で
ゴ
ジ
ラ
や
る
以
外、
ど
ん
な
仕
事
が
?

そ
ん
な
事
言
っ
て
ら
れ
る
時
は、
も
う
と
っ
く
に
過
ぎ
た
ん
で
す
よ。
僕
だ
っ
て
ね、
も
う
と
っ
く
に
映
画
な
ん
か
見
切
り
つ
け
て、
ま
ゆ
作
っ
て
細
々

と売り出しているんです。

景気はどうだい。

いいわけありませんよ。円高のあたり、もろ受けちゃいましたね、国産物なんか、高くてみんな買ってくれやしません。

先月も不渡り出しちゃいましたね、このままじゃ、首でも吊らなきゃおさまらない。

あの、どこが首なんですか？

あなたね、かわい顔してほんと、よく人を傷つけてくれる。そりゃないよ、イモ虫だもんな、オレがモスラだからってさ、世の中オレに首も吊らしてくれないのか！

大変なんだね、モッチャんのところも。

どこも似たり寄ったりですよ。ガメラなんか甲らにホテルやペンション建てて、海に浮かんで島やらされてるし、大魔神なんか怪獣のくせに、メジャークビになって、野球の解説者ですよ。

みんな苦労してるんだね。

兄さんはのんきでいいですね。でも、もうひとつとじゃないですよ。この人を養ってかなきゃならないんだから。

仕事ったってなあ……。お金なんかなくて、何とかなる

ゴジラ
ピグモン

モスラ

やよい
モスラ

ゴジラ
モスラ

ゴジラ
モスラ

ゴジラ

モスラ

さ。

なるわけないでしょ！この人が病気になったらどうするんです？
兄さん健康保険証持ってますか？

やよい

私、病気はしません。病気になっても自分で治します！

モスラ

たくましいですね。

やよい

この人のおかげです。

ピグモン

じゃあ子供ができたらどうするの？学校やるんだって、ランドセルやら給食費やら、結構、お金かかるのよ。

やよい

勉強は私が教えます。

ピグモン

でも友達ができないでしょう。かわいそうじゃない。

やよい

私の子が本当にいい子だったら、きっと友達は自然に集まってくると思うんです！

モスラ

・・・兄さん、兄さんにはもったいないよ、この人は・・・。

ゴジラ

僕もそう思う。だから離れたくない・・・。

モスラ

わかりました。いいよな。

ピグモン

そうね。それ程まで言うんだったら、非力ですが私達も力になりますよ。

ゴジラ

ありがとう！

やよい
モスラ
ゴジラ
モスラ

ありがとうございます！
で、兄さん、僕はなにをすればいいんですか？
モっちゃんには披露宴で司会を。
司会？

モスラ、突然、タキシード。

モスラ

本日は、遠路はるばる、ようこそおいで下さいました。それでは、新郎新婦の入場です。みなさま拍手を以ってお迎え下さい！

ウエディングマーチ、拍手。

モスラ

ちよ、ちょっと待ってよ兄さん。どーするのこれ。腕組めないよ。
。身長が50メートルも違うんだから。
手を出して下さいゴジラ！
うん！

やよい
ゴジラ

ゴジラ、やよいを手の上に乗せ入場。

モスラ

それでは、ゴジラ家、一之瀬家、両家の結婚披露宴を開催させていただきます。それではまず、両家の御媒酌を務めていただきます。す・・・、兄さん、仲人どうします？形だけでもないと。

ピグモン

ガツパさんとこなんかどうかしら？

モスラ

ちよつとまずいんじゃないか。あの人日活だろ、東宝に顔が立たないぜ。

ゴジラ

ウルトラマンなんかどうだろう？

ピグモン

あら、いいわねえ、あの人怪獣と人間の間やってるし、仲を取り持つっていうの、ぴったりよ。

モスラ

でもなあ、ちよつと問題あるぜ。

ピグモン

どうして？

モスラ

三分間しかもたないぜあの人。仲人の挨拶終わった途端、シユワツチか？

そうだなあ、ウルトラマンにはスピーチをお願いしよう。

ゴジラ

「ウルトラマンの三分間スピーチ」ですね！

やよい

かわい顔してあなたは、ほんと、面白い事を言う。それでは次に、今は亡き大映株式会社を代表いたしましたしまして、ガメラ様に祝辞

モスラ

に、今は亡き大映株式会社を代表いたしましたしまして、ガメラ様に祝辞

をいただきたいと思います。ガメラ様どうぞ。

ガメラのひと鳴き。

モスラ

・ ・ ・ 大変貴重な一声、ありがとうございます。ゴジラ家、一之瀬家御両家の披露宴もみなさまのおかげで、滞りなく進みました。それでは、ここで新郎新婦より、感謝の気持ちを込めて、両家の御両親に花束を贈呈いたします。みなさま、どうぞあたたかい拍手を！

中央階段奥に、やよいの父母、そして円谷が並ぶ。ゴジラとやよい、ゆつくりと歩み寄る。

ピグモン

お父さんお母さん、今日まで育ててくれてありがとうございます。やよいは今日、沢山の親戚や友人に送られて、ゴジラの家嫁ぎます。生きとし生けるもの全てを愛することがお前のさだめなのだを教えてくれたお母さん、ありがとう。私はゴジラに全ての愛を捧げます。晩酌をしながら私をひざの上に乗せ、いつの日か、お前と

モ
ス
ラ

結ばれる男は、強くたくましい男でなければならぬと、ヒゲ
でチクチクする頬をすり寄せてきたお父さん、私は、世界一強い、
ゴジラと結ばれます！
みなさまも、もう一度暖かい拍手をどうぞ！

拍
手
！

モ
ス
ラ

それでは最後に、ゴジラ家、一之瀬家を代表いたしました。ゴジ
ラの父、円谷プロダクション社長、円谷英二より、みなさまに感
謝の気持ちを込めまして、ご挨拶させていただきます。どうぞこち
らへ。

円谷、ゆっくりと前へ進み、やよいの手を取り微笑みかける。そし
てゴジラの前へ行き、手を取ろうとするが、やおら持っていた花束
を、ゴジラの顔に叩き付ける。

モ
ス
ラ

お
や
じ
！

父 やよい！誰がお前達の結婚を許すと言った！

やよい
お父さん！

父 見苦しいところをお見せしました。はじめまして、私、こいつの
父 父親で、円谷英二と申します。

父 お名前はかねがね、伺っております。私、やよいの父親で、一之

母 瀬溶岩と申します。これは連れ合いで、一之瀬ツムギです。
はじめまして。

母 息子が大変ご迷惑をお掛けしたそうで、申しわけございませんで
した。

父 いや、迷惑だなんて、まだ犠牲者も出てない事だし。
母 うちの子もいけません。ちよつと変わってましてね。

母 何をおっしゃいますお母さん。いいお嬢さんじゃないですか。心
身ともに輝いています。羨ましい限りです。それに引き換え、こ

母 いつはね、わが家でも、いい面汚しなんですよ。
そんな事ないんじゃないやございませぬ。ゴジラと言え、世界に名だ

母 たる怪獣の中の怪獣じゃ。
父 もう昔の話ですよ。こいつはね、長男である事をいい事に、仕

モスラ
円谷

事もせずブラブラして、退屈すれば暴れ回って、人様に迷惑をかけるヤクザもんです。こんな息子にお宅の大事なお嬢さんをいただくなんて、めっそうもございませぬ。さあ、ちゃんとお詫びをして、山にでも帰って岩にでも何でもなってる！
おやじ、話ぐらい聞いてやったっていいじゃないか！
手も足もないくせに、生意気言うんじゃない！

モスラ、糸を吐く。

父・母・円谷
ピグモン
モスラ
やよい

ワァー！
あんた、ダメじゃない、お父さんに向って！
すみません。

お父様、この人は確にお父様の言うように、強がって生きてきたかもしれませぬ。でも、本当はこの人とっても淋しがり屋なんです。怪獣仲間からも、人間からも、みんなに恐がられて、でも恐がられるのがゴジラだから、無敵である事がゴジラだから、この人どんどん孤立して行って、その孤独に耐えきれずにあばれ出してしまふんです。この人の目を見ればわかります。どんな大砲

母
やよい

にも、どんなミサイルにも倒れなかった体とは裏腹に、心はズタズタになる程傷つき、アスファルトに這いずるアリよりも小さく、震える程に凍えきっています。

・・・やよい。

お父さん、お母さん、この人には私が必要なんです。私がいなければこの人また、暴れ出すと思うんです。今度は幾つのビルを壊すのでしょうか。今度は何人の人を傷つけるのでしょうか。でもその時この人の心はもう、誰の手にも負えない程傷つき、倒れてしまうのです！

やよいさん・・・。

確かに今のゴジラには、あなたが必要かもしれません。でも、あなたにどうしてゴジラが必要なんです？

それは、私がこの人を愛する事で、私自身の精一杯の愛をぶつける事ができるからだと思います。だってそうでしょ。人間の男の人より何百倍も、何千倍も愛する気持ちがなければ、怪獣ゴジラを愛する事なんてできませんものね。

ゴジラ
円谷
やよい

円谷、おもむろにゴジラの胸ぐらを掴み、殴る、蹴る。

モスラ
やよい

父
円谷

ゴジラ
円谷
母
円谷

おやじ！

お父様！

円谷さん！もういいじゃないですか！

いいかゴジラ！父さんがいくら殴ったってお前は蚊に刺された程も痛くないだろう。父さんがいくらか蹴ったって、風にあたる程も感じないだろう。でも忘れるんじゃないぞこの痛み。人間なら血へド吐き、立てなくなる程のこの傷を、お前が今感じ取れないという事は、それだけでもう、この人を裏切っている事になるんだぞ。ゴジラがゴジラであろうとする事が、どれ程人を傷つけ、どれ程、お前自身を傷つけているか、それがわからなければ、この痛みがわからなければお前は決してこの人を幸せにしてやれる事なんかできやしないんだぞ！

父さん・・・。

・・・仕事がありますのでこれで失礼します。

お忙しいのですか？

最近、ルーカス君やスピルバーグ君にすっかりお株を奪われてしまってますね。CGだか3Dだか知りませんが、あんなヒヨッコ

父
円谷

には、まだまだ負けられませんかよ。見てて下さい。いつの日かまた、私の息子達があのスクリーンで暴れ回る日が必ず来ることを・・・。それと、

はい？

万が一にもお宅のお嬢さんを、このゴジラに下さると言うのなら、ふつつかな息子ですが、よろしくお願いします。

兄さん、よかったね。

モスラ
やよい

お父様、ありがとうございます。

円谷
やよい

それでは失礼します。・・・お嬢さん。

やよい

はい？

円谷
やよい

やよいさん・・・でしたっけね。

やよい

はい。

円谷
やよい

あなたの背中には・・・。

やよい

えっ？

まぶしい程に輝く純白の羽があるんじゃないやありませんか？

したたかなまでに笑みさえ浮かべ、ふり返るやよい。

やよい

・ ・ ・ そうかもしれませんね。

父

ゴジラ

・ ・ ・ ゴジラ君。

はい。

ちよつと ・ ・ ・。

ここは、父さんと二人だけに ・ ・ ・。

はい。

頑張つてな兄さん。オレ、兄さんだけには、幸せになつてほしいから。

モスラ

やよい

ゴジラと父。

二人の背丈は、はるか50メートルの差もあつて ・ ・ ・。

父、たばこを取り出し、

・ ・ ・ 吸うか？

いいえ、体に悪いですから。

君もはつきり言うね。

父

ゴジラ

父、ライターで火をつけようとするが、火が出ない。

父
ガス切れか・・・。

ゴジラ
火ですか、おつけしましょう。

ゴジラ、火を吐こうとするが、

父
まだわからんのか、君は！

ゴジラ
・・・すみません。

父
・・・いや、すまん。ちょうど禁煙してたところでね。やっぱ
りタバコは体によくないから・・・。君、酒は・・・。

父
ゴジラ
えっ？ああ、まだ飲んだ事ありません。
あ、ああそうだね、飲み屋に行けるわけじゃなし、酒なんか覚え
ない方がいい。君が飲みだしたら一晩で、日本中の酒がなくなっ
て、私の分がなくなってしまう。

ゴジラ

父

ゴジラ

父

ゴジラ

父

ゴジラ

父

ゴジラ

父

ゴジラ

父

ゴジラ

すみません。

さ、酒は体によくないから……。こっちの方はどうだね。

えっ？

やるんだろ、ほらこれだよ。

いや、できないんです。

そうか、じゃあ今度教えてあげるよ、なあに、難しい事なんてあ

りやしない。

できないんです。

そ、そうだよな、その指じゃ雀荘つまんじやうもんな。

すみません。

いや、マージャンは体によくないから……。

お父さん、僕たち……。

うちはね、女ばかりだろ。息子が欲しかったんだけど、女三人

も生まれちゃあね。だから、せめて娘の婿とは、酒飲んだり、マ

ージャンしたりして男同志、いろんな話をしてね、人生を語り合

える日が来るんじゃないかって。

語り合いましたよ、僕だってそれなりに……。

父

それなりに何だね？君に人並みに語れる人生があると言うのかね？本能のおもむくまま、街を踏みつぶし、森をなぎ倒してきただけの君のどこに、語れる人生があると言うんだ。人並みに自分の将来や、仕事の事、家族の事で悩み苦しんだ事が君にあると言うのか。人並みに、人並みに恋して、女一人に心乱し愛する事を覚えただけのゴジラじゃ、ただのふぬけじゃないか！やさしくなっただけのゴジラじゃ、やよいを幸せにしてやる事なんかできやしないだろ！

父
ゴジラ

・・・すみません。
い、いやすまん、興奮すると体によくない事は、わかっているんだが・・・。

父、またタバコを取り出し、

父
ゴジラ

・・・吸うかね。
いえ、体によくありませんから、

父、タバコに火をつけようとするが、火がつかない。

父
ゴジラ

ガス切れか……。君、火を持つてるかね。
……。いえ、僕は吸いませんから。

父とゴジラ、男と男の笑顔を交わし、

父

あの子は、私達の宝なんだから……。幸せに……。してやっ

ゴジラ

はい！

科学持捜隊のテーマ。

妹

隊長、第一次ゴジラ包囲網、攻撃準備完了です！

ハヤタ

よし、連絡を待て！

妹

ラジャー！

姉

隊長、第二次ゴジラ包囲網、攻撃準備完了です！

ハヤタ

よし、連絡を待て！こちら司令本部。ゴジラの現在位置を知らせよ。

レポーター

ゴジラは現在、元町港より南西約一キロの一之瀬溶岩宅に停滞中です。今のところ、動き出す気配は全くありません。

ハヤタ

よし、そのまま監視を続けよ！

妹

隊長、司令長官がまいりました。

姉

敬礼！

祖母

その後、ゴジラの動きはどうなってるのかね。

ハヤタ

はい！現在元町港より南西約一キロの一之瀬溶岩宅に停滞しており、溶岩氏を始め、妻ツムギ、長女やよいが逃げおくれ、人質に取られている模様です。

祖母

ゴジラは一体、何が目的なんだ？

姉

未確認情報ではありますが、ゴジラは一之瀬溶岩の長女やよいを生贄として捧げるよう両親に迫っている模様です。

やよい

ハヤタさん！ばかな真似はやめて下さい！

母

おばあちゃんまで何やってるんです。

ハヤタ

安心して下さいお父さん。空からは自衛隊ブルーインパルスの精鋭チームが、陸からは警視庁機動隊の最強チームが、海からは遠くアメリカから、第七艦隊率いるエンタープライズ号が、ゴジラ壊滅作戦の為に結成された科学特捜隊に結集し、今攻撃準備を

父
ハヤタ

やよい
ハヤタ

やよい

ハヤタ
やよい

全て完了したところですよ！

ハヤタ君、もういいんだ。君には気の毒かもしれないが、何がいいんですかお父さん！ゴジラはまた、いつ狂暴になるかわらないんですよ。飲んだくれの親父が妻や子供殴るのは訳が違うんです！

ハヤタさん、どうして判ってくれないのですか？

やよいさん、僕に何を判れと言うのです。こんこんと湧き出る泉のように、押しても押しても手の隙間から零れ落ちるあなたへの思いを、こんなゴジラごときの為に、どうして断ち切る事ができるというのです。

ありがとうハヤタさん、あなたにそこまで愛されているやよいは、幸せです。だから、あなたのその愛に答え従えば、やよいはきっと幸せになる事でしょう。でも、

でも？

私はゴジラを愛してしまいました。それは、あなたに答える愛が、ツバキの花ひとつ分の愛で事足りるとしたら、ゴジラに答える愛は、一本のツバキの木に咲き乱れる無数の花よりも沢山の愛が必要だったからでしょう。

ハヤタ

ゴジラはそれで、きっと救われる事でしょう。でもやよいさん、あなたを失った僕は、一体あなた以外の誰に救ってもらえと言うのです？

やよい

ハヤタさん、私は誰を救おうとも思いません。いえ、救えるはずもないのです。この世で一番恐れられるゴジラの、一言一句、一挙手一投足にやさしく微笑み返す事が、私がゴジラを愛する事が、この世に存在する全ての汚れから私を守ってくれた家族や友人、そしてあなたに答えられる、精一杯の私の愛なのです。

ハヤタ

・・・司令長官、攻撃許可をお願いします！

父

ハヤタ君！

母

ハヤタさん！

祖母

ハツちゃん、本当にいいのかね、傷付くのはあのゴジラだけじゃないよ。

わかってます！

ハヤタ

ハヤタさん、どうして、どうしてわかってくれないの！

やよい

おだまり、やよい！これはね、男と男の勝負なんだ。女が口を出

祖母

すんじゃない。

この世で一番恐れられるのがゴジラ、お前なら、お前を倒すこ

ハヤタ

とで、オレが一番恐れられる男になってみせる！攻撃よーい！
やめて！もう、もうこれ以上この人を傷付けないで！
やよい
ハヤタ
撃て！

激しい放射、飛び散る火花、科学特捜隊の執拗なまでの攻撃が繰り返される。ゴジラもまた、一步また一步と前進し、火を吐き、街をつぶし、森を焼きつくす。

祖母
ハヤタ
第一次包囲網、後退！
第一次包囲網、後退！

どんな攻撃にもひるむことのないゴジラ。
しかしその目は果てしないほどに悲しく、今にも崩れ落ちそうだ。

レポーター
隊長！全滅です！ゴジラに対抗すべき武器は、すべて破壊されつくしました！

祖母
ハツちゃん、もう諦めるんだ！これ以上の攻撃は、ゴジラを刺激し、被害を大きくするだけじゃないか！

ハヤタ ……司令長官、私に変身許可をお願いします！

姉・妹・レポーター ハヤタ隊員！

祖母 どうしてそこまで！

ハヤタ ここであきらめてしまえば、僕の思いもそれだけのものになって

しまいます。ここであきらめてしまえば、やよいさんもそれだけの人になってしまうからです！

ハヤタ隊員、ウルトラマンに変身。

ゴジラ対ウルトラマン。

激しい攻防の末、ウルトラマン、力尽き倒れる。しかし、本当に傷ついているのは、ゴジラだった。

やよい 大丈夫ですか、ハヤタさん！

ハヤタ さわるな！もう、これ以上僕にやさしい言葉をかけないで下さい

。体に負ったどんなに深い傷よりも、僕には、あなたのやさしさの方が心痛く、胸引き裂かれます。

ハヤタ君、もういいだろう。

祖父 ハッちゃん、もう十分じゃないか、君はやよいへの愛を最後まで

父
母
姉・妹
やよい

ゴジラ
やよい
ゴジラ
やよい
ゴジラ

やよい
ゴジラ

で全うしたんだ。さあやよい、ゴジラを連れて山へお戻り。もう誰も何も言いやしない。この私が言わせないから。

やよい、幸せになるんだよ。

やよい、体につけてね。

お姉ちゃん、元気でね。

おばあちゃんありがとう。お父さんお母さん、エミちゃんユミちゃん、ありがとう。さあゴジラ、行きましょう。どこかケガはしていませんか？山へ戻ったら、私が治してあげますからね。

えっ？

・・・それ以上僕に近づくんじやない。

どうしたのゴジラ、もうみんな私達を許してくれたのよ。

踏みつぶされたいのか！

ゴジラの目は、その体とは裏腹に、どこまでもやさしい。

・・・そんな、そんな言い方ってないんじゃないやありません。

もう、もうやめましょう、やよいさん。あなたにそんな悲しい顔

・・・そんな、そんな言い方ってないんじゃないやありません。

もう、もうやめましょう、やよいさん。あなたにそんな悲しい顔

・・・そんな、そんな言い方ってないんじゃないやありません。

もう、もうやめましょう、やよいさん。あなたにそんな悲しい顔

をさせてしまうのは辛いから、もうやめましょう。今の僕には、もうゴジラの僕にはもう、あなたを愛し続ける自信がなくなりました。

ゴジラ
やよい

ゴジラ・・・。

ハヤタ

あなたの身長がもし、その一〇倍あったなら、あなたの肌がその透き通る程の白でなく、黒染みひび割れたものだったら、あなたにしっぽがあったなら、あなたに火が吐けたなら、あなたが・・・ゴジラなら、きっとうまくやっていけるはずなのに。ダメだ、許さないぞ！何の為に戦ったんだ！

ゴジラに銃を向け、構えるハヤタ。

ゴジラ
祖母
母
やよい

だから！

ハツちゃん！

ハヤタさん！

だから・・・。

ゴジラ、ハヤタの向ける銃にゆっくり近づき、

ハヤタ

どこまでカッコつけりや気がすむんだ！

轟く銃声、銃弾は正確にゴジラの胸をとらえ、貫いた。
崩れ落ちるゴジラ。

ゴジラ

・・・だから僕は、このちっぽけな鉛の弾に倒れる事で、もう一度始めからあなたを愛し始めます。鉛の弾胸貫通すれば、倒れ息絶える人間でなければ、ゴジラがゴジラである事をやめなければ、あなたを愛する事ができないのなら、僕は今、この弾に傷つき息絶える事からもう一度、あなたを愛し始めます。押えても押えても溢れ出るこの胸の血は、まるであなたを思う愛おしさに似てとめどなく、全身の血を余す事なく吐き出す事でしょう。体を伝い流れるこの血は、ゴジラをやめた僕が贈る、あなたへの最初のメッセージです！

やよい

違いますゴジラ、私が愛したのは、人間のあなたではありません。
私が愛したのは、身長五〇メートル、体重三〇〇トン、全長一
二〇メートルの、火を吐く、世界一強いゴジラです！

ゴジラ、ゆっくり立ち上がる。
胸から滴る血は、まるでツバキの花びらのように鮮やかで痛々しい。

どこへ、どこへ行くのです？

山に帰ります。

私も連れて行って下さい。

ついて来ないで下さい。

どうしてですか？

心は人間になつたつもりでも、僕はまだ、ゴジラだか

ら・・・。

傷ついたゴジラ、ゆっくり去り始める。舞台、やよいだけを残し、
暗転。遠くから爆発音が鳴りひびく。

やよい

・・・ゴジラ、私を置いてどこへ行くのです？力尽きたあなた
の背中を、私がどれ程の思いで見送らなければならぬのか、
ゴジラ、あなたにはわかつているのですか？涙も見せずに去っ

て行くあなたの目は、いつもと何も変わらないのに、どうして私をこんな悲しませるので？涙さえ拭う術を持たない私に、山が泣いています。いつも私達をやさしく見守ってくれた森が、草原が、大地が、あなたのもうにも勝手なさよならに、声を震わせ泣き始めました。あなたのもうにも勝手なさよならに、山は今、赤く熱い炎の涙を流し始めました！

・・・そして全てを語り終えたやよいは、ただ黙って微笑み返す事が、どれ程人を傷つけ、どれ程自分が傷つくか、確かに気がつき始めていた。

汽笛、さざ波、雑踏、喧騒、サイレンの音。
何やら不穏な気配。

はるか遠くから聞こえていた爆発音も、ゆっくりと、しかし確実に迫り来る。

大島元町港。

夜の闇に、その姿をかすかなシルエットでしか現わさない三原山を、

一人の女が見上げていた。

女は、生まれて初めて負った心の傷を、潮風に晒しながら、頬伝う涙とともに、乾いてゆく肌ざわりをまるで楽しんでいるかのようさえ見える・・・。

汽笛の音。

全ての音を掻き消して鳴り響く汽笛は、重く、せつないまでに心震わせ、壮絶な幕切れを予感させる。

ハヤタ

みなさん、まもなく出港します。順序よく、速やかに乗船して下さい。

モスラ

お巡りさん、どうなるんだろうね、島は・・・。

ハヤタ

さあ、私にも皆目・・・。

父

おーい、早くしろ！

母

もたもたしてないで、早くいらっしやい。

レポーター
こちら大島元町です。一二年ぶりに大噴火した三原山は、三日経った今日も、衰えを見せず、外輪山からあふれ出した溶岩流は、数十メートルの幅で森をなぎ倒しここ元町港より南西約一キロ

祖母
母
姉・妹
やよい
父

のところまで迫って来ました。最後になった避難島民もそのほとんどもが巡視船「かとり」に乗船を終え、我々報道陣もこの放送を最後に避難します。

やよい、何やってるんだい、こんなところで。

傘もささないで。灰が降ってるでしょう。さあこれをさしなさい。

お父さん、早くー！

お母さん、ゴジラは？

ゴジラ？

噴火の爆発音に紛れ、微かに鳴き声が聞こえるが、定かでない。

父・母・祖母
えっ？

早く行こうよー！

祖母
父
何寝ぼけてるんだい。ぱかな事言っていないで、早くおいで。

父
はやく来るんだよ。

やよい
おばあちゃん・・・。

祖母
大丈夫だよ。

父、母、祖母、姉、妹、船に乗り込む。

ハヤタ

やよいさん、もうすぐ船が出ます。乗り遅れないように。待って
ますから・・・。

やよい、ゆっくりと赤い傘をさす。

いつまでも見つめられ続ける山は、地響き唸らし、その限界を見せ
始めた。

ふと、やよいの背後に人の気配がする。

男は見知らぬ女を横目でやり過ごし、足早に船に乗り込もうとする。

やよい

・・・ゴジラ！

男

・・・えっ？

男は、爆発音でよく聞き取れなかった背後からの言葉にふり向くが、
やはり、女に面識があるとは思えず、立ち去ろうとする。

やよい

・・・ゴジラ。

男

男はもう一度ふり向き、初めて自分が呼び止められている事に気付く。

男はゆっくり女に手をさしのべる。

さあ急いで・・・、一緒に逃げましょう。

やよいは、その手を取って、もう一度山に別れを告げる。

やよいは男に顔を戻し、男もまた、やよいを見つめ笑顔を交す。

やよいの心の傷はいつの間にか癒され、今、手を取る青年の笑顔に愛さえ予感する。

男もまた、それに答えるかのように、力強く手を取り返し、やよいを連れ去って行く。

しかし二人の行く手に幸せなどあろうはずもない・・・。

突然、轟音と共に、大島全島を海に没す程の大噴火が始まった。

はじけ飛ぶ溶岩は、上空数百メートルにも達し、その原形をことごとく破壊する様はあたかも、世紀末を見るがごとく、そして、その轟音は、まるでゴジラの声にも似て・・・。

終
わ
り